



## ビール大麦新品種「九州二条11号」の特性

吉川 亮<sup>1)</sup>・吉田智彦<sup>2)</sup>・伊藤昌光<sup>3)</sup>・浜地勇次・古庄雅彦・  
水田一枝・山口 修・吉野 稔・篠倉正住<sup>4)</sup>(福岡県農業総合試験場・<sup>1)</sup>東北農業試験場・<sup>2)</sup>九州大学・<sup>3)</sup>四国農業試験場・<sup>4)</sup>福岡県農業大学校)Ryo YOSHIKAWA, Tomohiko YOSHIDA, Masamitsu ITO, Yuji HAMACHI, Masahiko FURUSHO, Kazue MIZUTA,  
Osamu YAMAGUCHI, Minoru YOSHINO and Masazumi SHINOKURA :  
Agronomic Characters of Newly Released Malting Barley Line " Kyushu Nijo 11 "

わが国の主要なビール大麦産地である北部九州では、「あまぎ二条」、「ニシノゴールド」および「アサカゴールド」が作付されているが、それぞれ被害粒の発生による品質低下や収量性が不十分である等の問題がある。そこで、それらの点を改善するとともに、うどんこ病に抵抗性を持ち醸造品質が優れた「九州二条11号」を育成したので、その来歴と特性の概要を報告する。

## 1. 来歴

本品種は1982年4月に大系H 804 × SpartanのF<sub>1</sub>を母とし、栃系157を父として交配した組合せから育成した。主要な育種目標である高醸造品質、特に高ジアスターゼ力は、大系H 804、うどんこ病抵抗性はSpartan、大麦萎縮病抵抗性は栃系157に由来する。

## 2. 結果および考察

## 1) 生育特性

出穂期、成熟期は「あまぎ二条」と同程度であるが、「ニシノゴールド」および「アサカゴールド」よりやや遅い。稈長は他の品種と同程度かやや短い。穂長は「あまぎ二条」および「アサカゴールド」より短く、「ニシノゴールド」並みである。穂数はいずれの品種よりもやや多い。耐倒伏性は「ニシノゴールド」および「アサカゴールド」並みで「あまぎ二条」より優れる。うどんこ病および大麦萎縮病には抵抗性である(第1表)。

## 2) 収量特性

千粒重、整粒歩合ともにいずれの品種より大きい。整粒重は他の品種より明らかに大きく、多収である。外観品質は「あまぎ二条」より優れ、検査等級は同等である。被害粒については、側面裂皮粒はやや多いが、「ニシノゴールド」より少ない。また、凸腹粒の発生はいずれの品種よりも少ない(第2表)。

## 3) 醸造品質特性

麦芽エキスおよびエキス収量が高く、コールパッハ数は「あまぎ二条」並みで「ニシノゴールド」および「アサカゴールド」より高い。ジアスターゼ力は極めて高く、いずれの品種より優れる。醸造品質の総合評点は「あまぎ二条」よりかなり優れ、「ニシノゴールド」および「アサカゴールド」より優れる(第3表)。

以上のことから本品種はこれまでにない優れた特性を持っているので既存の品種の欠点を補いビール大麦作付地帯での生産性向上に貢献できると考えられる。

第1表 生育特性 (昭和63～平成6年度のドリル播・標肥栽培)

系統名 または 品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏程度	うどんこ病	大麦萎縮病
九州二条11号	4.13	5.26	90	6.1	550	0.7	極強	極強
あまぎ二条(標準)	4.13	5.26	92	6.6	504	1.0	中	弱
ニシノゴールド(比較)	4.12	5.23	92	6.0	524	0.6	やや弱	極強
アサカゴールド(比較)	4.11	5.24	92	7.0	506	0.8	やや弱	極強

注) 病害抵抗性は特性検定試験結果である。倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階で判定した

第2表 収量特性 (昭和63～平成6年度のドリル播・標肥栽培)

系統名 または 品種名	千粒重 (g)	整粒歩合 (%)	整粒重 (g/a)	同左標準比 (%)	外観品質	検査等級 (%)	側面裂皮粒 (%)	凸腹粒 (%)
九州二条11号	48.2	86.6	40.9	125	4.8	3.2	2.0	0.2
あまぎ二条(標準)	40.9	77.9	33.3	100	5.2	3.2	0.3	4.7
ニシノゴールド(比較)	40.0	77.9	29.6	88	4.6	3.1	7.4	0.5
アサカゴールド(比較)	42.5	82.7	34.6	105	4.9	3.3	0.6	4.6

注) 整粒歩合は2.5mm以上の粒の割合で、整粒重は千粒重×整粒歩合の値である。外観品質は1:上上～9:下下までの9段階、検査等級は1:1等～4:規格外までの4段階評価、被害粒は発生粒率である

第3表 醸造品質特性 (昭和63～平成5年度ドリル播・標肥栽培)

系統名 または 品種名	麦芽エキス (%)	エキス収量 (%)	コールパッハ数 (%)	ジアスターゼ力 (WK/TN)	総合評点	同左標準との差
九州二条11号	84.6	77.4	50.6	198	73.4	20.0
あまぎ二条(標準)	82.2	75.7	50.3	138	53.4	—
ニシノゴールド(比較)	84.0	76.9	48.1	150	62.5	9.1
アサカゴールド(比較)	83.5	76.9	48.0	138	58.8	5.4

注) 分析は栃木農試栃木分場に依頼した

## 引用文献

- 1) 伊藤昌光・浜地勇次・古庄雅彦・篠倉正住・北原操一・藤井敏男・鈴木崇之(1987)二条大麦新品種「ニシノゴールド」の育成, 福岡農総試研報A-6:17-24.
- 2) 吉田智彦・伊藤昌光・浜地勇次・古庄雅彦・篠倉正住・吉野 稔(1991)二条大麦新品種「アサカゴールド」の育成, 福岡農総試研報A-11:27-30.